



# みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年8月28日No.41

文:岡本勇人



## 三朝町立三朝中学校 学校だより

まずは、この度の台風第7号により被害を受けられたみなさまに謹んでお見舞いを申し上げます。被害にあわれた方々におかれましては、一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

立秋(りっしゅう)とは、暦の上で秋のはじまりとされる日です。今年は8月8日(火)でした。この日を境に、「暑中」は「残暑」になり、「残暑見舞い」を書く季節へと変わります。

しかし、今日も県熱中症警戒アラートが発表され、県内では、今日(28日)は、熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測されています。

本校では、黒球型携帯熱中症計(暑さ指数WBGT)を計ることができる黒球温度計・温度計・湿度計が一体となった測定器)を活用し、教育活動(部活動のみならず運動会練習・教室外での活動等)を実施しています。引き続き、お子さまの十分な睡眠時間の確保・朝食を摂ってからの登校・こまめな水分補給への準備など、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「みのりある学び」×「最適な環境」×「全国学力・学習状況調査結果」

### ◆ 自然数・整数って何

「-5、0、3、4.7、9の中から自然数を全て選んでください。」全国学力・学習状況調査数学1番の問題です。1年生の4月ごろ、初めて学習する言葉ですが、それ以降、中学校・高等学校の数学の時間には必ず必要となっています。何と、全国及び鳥取県の正答率は46.1%です。約半数の人が"自然数"を理解していない・忘れているということです。本校の正答率は22.4%と衝撃的な数値でした。

中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」における「子どもの学び」の姿について』では、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげることによって、「子どもの資質・能力の育成を図る」とあります。

新しい学習内容に出会った時に、その内容に興味をもち、なぜそう表現するか・そのような解き方をするのか、まずはそれらの疑問に気づき、その気づいたことを考えて考えて、他の人に説明してみる。他の人に説明することによって、その人の意見や感想を聴く

ことができ、お互いに考えが深まっていくことが想起されます。いわゆる"Win-Win"です。

様々なことを考え、それを言葉で表し、説明することを繰り返す。"結果がすぐに出ない"とあきらめないで、意識し続けることが必要だと考えています。

※ 上記内容の一部は、始業式で話しました。

「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「シール」

### ◆ 目標達成しました

No.41号で取り上げました「いただきます 12:50」「帰りの会 15:50」が目標達成(シール15枚)できたとのこと。7/20という夏休み前に達成できました。"2学期までお預けかもしれません。"といったことをお詫びします。



「みのりある学び」×「最適な環境」×「すららドリル」

### ◆ クラウド型のアダプティブラーニング教材



夏休みの宿題及び休み明けテストは「すららドリル」を活用しました。参考:[https://surala.jp/school/surala\\_drill/](https://surala.jp/school/surala_drill/) これを活用すると、生徒は学校・家庭に関わらず、いつでもどこでも学習することができます。復習のために小学生の問題も解くことができ、日本テレビ「クイズ!あなたは小学5年生より賢いの?」対策にもなります。

★ 三朝中学校 HP <https://misasa-j.edumap.jp/>